

刊夕日三十月二十

常磐宮日新聞

日 刊

定額 五圓 郵費 別 月金 五圓 郵費 別 五圓
 廣告費 別 訂 行 金 五圓 郵費 別
 電話 五三〇三 印刷 局 常 磐 宮 日 新 聞 社
 發行 所 常 磐 宮 日 新 聞 社 常 磐 宮 日 新 聞 社
 印刷 所 常 磐 宮 日 新 聞 社 常 磐 宮 日 新 聞 社

劇と音楽の態 [六]

磐城中学校 根本邦雄

舞踏等に合せて演奏する曲には古來種々ある。之を舞踏曲と稱す、此の舞踏曲は音楽の方で身體を動かして踊るのが主眼である。其のために拍手とかリズムとかと申すものが特別な性質を持つてゐる。今近代歐洲に普通最も多く現れてゐる特異性を持つ舞踏曲の種類を語つて見る事にする。

一、ソルツ之はボヘミアの舞踏曲で其の後にドイツに廣まり殆んどドイツの國民的舞踏曲とまで考へられる位になつた輕快な三拍子から成る。

二、ブレイフランスの舞踏曲の一種で二拍子四拍子で第一小節は第三拍目の四分音符から初まる（四拍子の子の場合）

三、タランテライタリアのナポリ特有の曲で後にはイタリアの國民的舞踏曲とまで考へられるに至つた。子は速い六拍子の子のもの。

四、ボルカドイッのボヘミア（今はチエツクスロヴァキア）から起つた一種の舞踏曲で廣く演奏されてゐる拍子は三拍子である。

五、メヌエット……古くフランスからの起りで現在では頗る廣まつてゐる此の舞踏曲を作曲家達はソナタやシンフォニーの中の第三樂章にして用ひてゐる。三拍子のもので出だしは三拍目から初まるものである。

六、ポロネース……ポーランドの固有曲で天才ショパンが屢々此形に於て立派なピアノ曲を作して非常に有名である三拍子のものである。

七、マーチ……活潑な勢のあるリズムを持つてゐる二拍子四拍子六拍子で其の中心のトリオが鮮明なる三部形式を示してゐる。

八、ガボット……古いフランスの曲で四拍子で八拍を以て一句をなし第一小節の出は第三拍目からである。

九、ガロップ……快速な圓舞曲で圓を作つて舞踊する二拍子である。

この外クラントとカルーレとかサラバンドとかアルマンドとかジグとかがまだ舞踊曲には澤山ある。

綴り方

雨の日

平第一校第五 林 健一
 朝から雨だ。外へは出られ

科人婦。科産
院醫坂井
 町田町平
 番九五五話電

ない。お母さんはお仕事、兄は勉強、私は本。午後になつて、やつとやみさうになつた。雞がククククのをならしてゐる。腹がへつたのだらう、私は小麥をつかんで外へ出た。小麥をとやの中に投げ入れるとうれしうにぐちばしをそへてひろい始めた。いそがしさうだ。

玄關にまはつて見たら、小犬がぬれながら走つて行つた。小雨の降る外を見てゐると、時計がポン／＼とだるさうに三時をうつ。雨はそろ／＼やんで来たやうだ。四時頃にやつと止んだ。何んとなく氣持がよい。前の道に出て見ると子供等が空を見上げてさわいでゐる。「おやつ」と思つて空を仰ぐと虹がかゝつてゐる。「兄さん、虹だ、虹だ」と座敷にかけあがつた。お母さんが「どれ——」といつて出た時にはもう虹は消えてゐた。西の方は少しあかるくなつて来た。

今年も、クリスマスプレゼントはどうぞオモチャのいづみやへ珍らしい變つたオモチャやお正月のお遊びもの澤山入荷致しました立派な寫眞が誰にも撮れる!!!

お正月の楽しみは何んと云つても

カメラが第一

安くて簡單によく寫るので大評判

いづみやの小型カメラ

小型判 一組 五十錢より
 ベスト判 一組 二圓より
 名刺判 一組 四圓より

各種

第四回懸賞寫眞募集
 題目「お正月」
 べ切一月二十日

模型飛行機材料はいづみや玩具店

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

平町田町 電話五二三番

内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

新年繪はかき
 クリスマスカード
 博文館當用日記
 かるた トランプ
 例年の通り豊富に取揃へました
 御贈答用として

商品券(マルトモ食堂)共御利用願ます

柴田書店
 平町田町四丁目
 電話 四三二(西) 五八七(東)
 番 三二一(西) 一三二(東)

今度の御調髪は是非どうぞ

明るく感じ！清々しい電氣
 バリカンの爽快な刈込み……
 氣持よいシヤンブー電熱アイロン
 電氣マツサージの上品な仕上げ

□キツト皆様の御氣に 召すで御座いませう……
 □是非一度御光來御調髪の程お待ち申上げます

平町田町 石崎理髮店
 大床號
 電話一八八番

冬の通學服

當店特製の黒小倉通學服を豊富に取揃へて御座います。

長ツボン付
 小學生用……・85錢
 同(特製品)……1・90錢
 中學生用……2・80錢

なかや洋服店 平町田町
 電話二〇三

二男義夫告別式の際に態々御焼香被成下且つ御鄭重なる御香奠を賜はり御厚情の段有難く奉深謝候先は乍略儀不取敢以紙上御禮申述候

十二月二十二日

父 永野 柳 造

過重な試験準備に

呻吟する小學童

悲壯な試験地獄

試験地獄の新學期の接迫と共に郡下各小學校では中女學校その他の受験生のため二時間乃至三時間の特別準備教授を施し受持先生も生徒も連日血みどろの苦闘をつつてゐる餘り過重なる準備教育の保健上及ばず悪影響は可成りに多く當局では此の緩和につき相當苦心を拂つてゐるが殊に入學難の甚だしき磐中、磐女、平商を目標とする郡下各小學校では所謂背に腹は代えられぬ事情から學校當局も父兄も此の過重なる準備學習に兒童の心身をさいなむ事情にあり新學期の來る毎に此の弊害につき識者間に論議されてゐる

筆耕依頼皆無

平紹介所徒勞

平職業紹介所が智識階級の歳末救済事業として計劃した年賀状書きは書手は紹介所の門を市なす程あつても頼み手は所員が足を棒にして勧誘した三つ一もないので所員もこれでは唯一無二の名案も何にもならぬと落膽し今年中止することとした

日本キリスト

南町の日本キリスト教會では廿五日午後二時から同會の

風園保育部員が左の如きプログラムでクリスマスを行ふと
△サンピカ小き星△ごあいさつ三森タカ子△首ふり人形小き組△かきやく星大い組△お人形屋有志△雨よふれ△一人形しばい先生△お話川崎氏 以上

年内に竣工する

愛谷堰改良工事

竣工式は明春三月

平町外四ヶ村かん漑用水池たる愛谷堰改良工事は地元町村請負により失業救済をかねて多數人夫を使役工事を取急ぎつゝあるので近く竣工を見ることになつてゐるのでこの程農林省から川原技師が視察したので縣から市橋耕地課長、堤係主任が案内するところあつたが着工後工事順調に進捗し満一ヶ年の日を費し工費二十七萬六千圓を投じ延入夫二萬六千五百人を要しこの程工事殆ど竣工し年内完了の豫定で目下各部の手直し雜工事跡片付に六十餘名の入夫が従事してゐるが竣工式は來年三月舉行されることになつた

草野村長後任

鈴木助役昇格

石城郡草野村では村長高岡唯一郎氏逝去につき後任村長選挙につき二十日村會を開き助役鈴木長壽氏を昇格せしむることに内定近く正式決定を見る筈

貧困者施米

鷹崎菅本兩氏

平町一丁目石城産婆看護婦學校長鷹崎千代同町米穀商菅本庄治の二氏は年末貧困者のため各々白米一俵の分與方を二十二日平署人事相談所に申出た

慰問金品

石城郡出身在滿兵 団体募集

本日本現在
□大工町扱 (三圓) 多田井 笑次郎 (二圓) 愛澤長賢 (一圓) 石井重太郎 (五十錢) 齊藤與助 高崎忠藏 渡邊眞平 永島庄治郎 柴田興之助 新春豊次 櫻井盛信 大和田啓雄 丹野岩松 石澤茂 鈴木 甚藏 丹野耕松 平魚市 本三郎次 渡邊三郎 鈴木兵吉 石井義廣 倉谷清二郎 (二十錢) 野崎梅吉 (二十錢) 早川次郎 幡

寅吉 鹽澤藤十郎 佐藤砂三 森三平 宗像アヤ 高畑廉次郎 吉田充彌 小野武平 大田フク 清野徳次郎 但野芳雄 (十五錢) 佐藤静五郎 柳沼長吉 (十錢) 鈴木松太郎 青戸寅吉 鈴木丑松 舟山喜平 石井竹之丞 片桐彌八 川崎義兼 松本ツキ 鈴木七松 佐久間六郎 遠藤顯藏 丹野省藏 岡村明 山田源七 草野芳徳 原田末雄 廣田惣吉 村松由雄 伊庭マス 佐藤利雄 綱干ミネ 高橋惣藏 田久一二三 佐藤子之松

本清 佐藤藏重 山口貢 遠藤辯造 酒井隣太郎 池内盛雄 小林銀三 安藤美代子 玉田鶴吉 遠藤喜野 草野寅次郎 伊藤貞二 木戸田ウメ 佐藤廣之助 鈴木多利吉 後藤桂山 (二十錢) 熊谷ナツ 阿部明直 菅野端藏 櫻井キヌ 中關屋津次 佐藤利吉 渡邊甚助 北郷久馬 酒井利七 山崎竹治 中村武司 松本正胤 丹野好次郎 庭山富造 白鳥清光 吉田モト 木村長次郎 大野春吉 中村キン 高野邦一 田村ミツ 海老根正壽 村上榮 鈴木タカ 高橋憲 (十五錢) 本田嘉七 遠藤忠三 (十錢) 岩田ウシ 山崎忠雄 鈴木只義 金澤進 齊藤香三郎 本田富七 鈴木卓爾 河瀬ミツ 大和田清吉 松本忠次郎 草野今三郎 五浦タマ 片寄豊 野村染藏 草野キミ 高岡武司 渡邊ナミ 梅津松吉 根本留治 (手袋五足) 増尾甚市郎

中島立教選手
立教大學野球部の中島選手は本日より磐城中学校野球部をコーチするため一週間の豫定で昨夕來平本日より練習を開始した

夜警費の割當 町役場では本日平町全區長を會議室に招集し本年度に於ける各區夜警費の町費補助につき其の割當額其他に就いて協議を行つた

郡下ピンボン 選手権大會

三十日に開催
石城郡に於ける卓球ファンによる郡下ピンボン選手権大會は卅日午前十時より平第三小學校に行はれるので郡下の選手數十名が猛烈な選手権競技を行ふ筈である

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雜誌が 自由に讀める 川崎巡回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

御挨拶
肅啓時下向寒之候各位益々御清詳に涉せられ芳賀な事に奉存候陳者小生儀今般左記の個所に寫眞館開業仕候何卒倍舊御眷顧御引立に預り度設備技術ベストを調して御用命に應じ度御愛顧の程幾重にも奉懇願候 敬具
追て一々拜趨御挨拶申上可きの處不取敢紙上を以て如斯に御座候 諸 橋 嘉 吉

最新式電機應用の斬新なる撮影法で 必ず御満足を期します
晝間夜間共何等の變りなく撮影が出来ます
出張撮影も迅速に致します
料金は開店披露のため特別割引致します

寫眞館
平町田町丸新デパート
寫眞部
高級ボストカード
其他寫眞一般

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科
平南町 (電話一七〇番)
大和田醫院

鯛の山を築く 磐城各濱の賑ひ

相場は千尾三十錢位 近年珍しい大漁

石城郡沿岸の各漁場では連日鯛の大漁で賑つてゐるが殊に小名濱、四倉等では毎日数万貫の陸揚げあり相場は千尾三十錢で平町の市場には鯛の山を築き食用にのみでは賣りきれず盛んに肥料の製造を開始した

坑夫惨死

炭車に頭部を

石城郡磐崎村上湯長屋居住探炭夫三浦周助(五)は十八日小野田炭礦第二斜坑内の作業を終り坑外に出ると故障炭車と知らずに乗車して炭車が轉覆同人は百尺下に墜落し頭部其他に重傷を負ひ炭礦病院にて手當中であつたが廿日午後五時頃絶命したと

活動寫真から 悪い感化

罰の小年後聞

本紙昨報した内郷村御所納豆行商少年似鳥三郎(七)につき聞くと同人は家が貧しいので朝晩納豆を賣つて家計を助けてゐたものだが活動寫真から刺戟を受けて遂に大それた盗みを働くやうになつたもので贓品は全部賣却してゐた、なほ受持ち

改選を協議中であつたが是の改選の結果左の諸氏が當選した

阿子島勘吉 馬場武太郎
猪狩又吉 小野壽雄 天
川五郎 早川庄七 坂田
初太郎 康又繁 宮本福
松 水野吉雄

無免許伯樂

平署に檢舉

石城郡夏井村大字菅波字長井作鈴木榮吉(五)は本年三月以來無免許にて牛馬の賣買を行つて居た事を平署に探知され牛馬商違反として檢舉され目下参考人呼出し取調中であるが数十件に及ぶらしいと

俵米品評會入賞者

二十四日に共同販賣

既報平町外七ヶ村の俵米品評會は昨日より田町の農業倉庫に行はれ出品二百餘四百俵の多數に達し審査會を行つた結果左記の等級を發表尚出品俵米は廿四日午前十時より同倉庫にて共同販賣に付す筈である

(一等)吉田庄一 大田清太郎 (二等)箱崎幸助 山本勝義 小野松竹 箱崎義範 藪部鐵彌 三森清重 (三等)片寄爲義 遠藤作一 藪谷象太郎 鶴沼末吉 永井重太郎 高木秀彌 大場助致 志賀耕一 波立佐重 山崎龜雄 箱崎庄吉 齊藤茂

(四等)白土鶴松 鈴木正義 古市喜一 古市松太郎 阿部清人 吉田佐一 大和田廣 三島五郎 志賀又一 鈴木多次郎 箱崎喜一 大平政春 久保木初太郎 吉田爲 叶多清 箱崎正雄 木田丑吾 鈴木茂孝 田中實行組合 矢吹利馬 矢吹康 矢吹三郎 渡邊喜代作 矢吹朝光 黒木美顯 佐竹芳太郎 永井祐佳 上妻實次郎 荒井幸三郎 志賀竹治 須藤孝敬 片寄義雄 志賀久馬 勝倉林次郎 木村キン 圓池鐵次郎 國井秋義

平吳服賣出

二日目福運者

平町吳服商組合の聯合大賣り出しは毎日人氣を呼んでゐるが第二日目の福運者の左の如し

(特等)久の濱木田安次
櫻町赤坂サダ 平第三田村澤江 平町佐藤金之助 湯本町草野マサ (一等) 鹿島吉田政徳二本 南町川井 好間鈴木佐吉 鯨岡松崎龜吉 草野小林ミキ 廿五丁目多氣 平町内山ハナ 鹿島佐藤リ子 小野新町安田正夫 (二等)新田町鎌田 平湯新妻 中町木村 土橋國井 綴齊藤鶴吉 一丁目飯田テオ 四倉町小野屋菓子店 四丁目百澤 内郷村松崎清風 平町濱口銀藏

賍物賣買二件

湯本町字三國古物商平子三郎

(三)は十二月七日平署に窃盜犯として檢舉された姓名清永から情を知つて銅線十三貫を買つた爲め、湯本町字湯本古物商高久田寺三郎(四)は十二月八日夜賍品の銅線三貫目を買受けながら帳簿に記載しなかつたので廿日平署の取調べを受けた

草野晴次郎氏

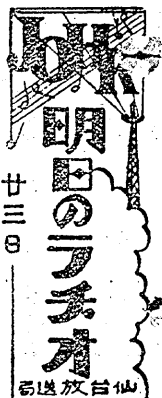
けふ葬儀執行

石城郡上小川村消防願門であり且つ郡下有数の金融業者であつた草野晴次郎氏は廿日病没したが同氏の遺言にて現消防組頭長子正壽氏は即日同村小學校へ五百圓同消防組へ百圓、村社二立屋神社へ百圓、同村常慶寺へ田地二反歩いづれも基本金として寄贈したが廿二日の會葬には小學生徒一同並に消防組員が參列盛大を極めた

娼妓奉公二年間 前借金を渡さぬ

警察署へ嘆願 自由廢業をせよ

石城郡渡邊村大字釜口清四郎三女小山きよ(二)は昭和四年中楯岡某製糸場に女工として働いてたが一家を救ふため四年の期限(八百圓)で山形市小姓町曉櫻佐藤五郎方へ身賣しつらい勤めをしてゐるにも拘らず今までわたしてゐたと思つてゐた前借金は一文も渡さぬ爲め貸家では債務者より矢



明日のラジオ

今晚の部
後六、〇〇(子供の時間) クリスマスの讚美歌とその説明 石川進
後六、三〇 家庭電氣講座 「住み良い家」工學博士伊藤奎二
後七、三〇 滿蒙事情特別講座「滿蒙の資源」内閣資源局長官宇佐美國遊
後八、〇〇 獨唱と合唱
在仙外人唱歌團

明日の部
後九、一〇 料理献立「煮現替り燗黄菜」小野寺嘉現
後一〇、三〇 家庭講座

「御老人や御子供のため」西岡俊雄
後〇、〇五 吹奏樂進行曲「軍艦三笠」勝部藤五郎
後一、〇〇 家庭大學講座「論理學」(下)第十一講中桐維太郎
後六、〇〇(子供の時間) お話「ドイトツのクリスマス」テキスト一六ページ
山田耕作
後六、三〇 家庭電氣講座「電氣の醫療的効果」田村春吉
後七、三〇 座談會「本年の景氣を願ひて」下田正美外
後八、三〇 座談會「來年の景氣は？」原邦三外

美味しく。てく。の。安。い

鳥小焼

南町 鳥商 鳥菊

電話二八六番

小説 七五三

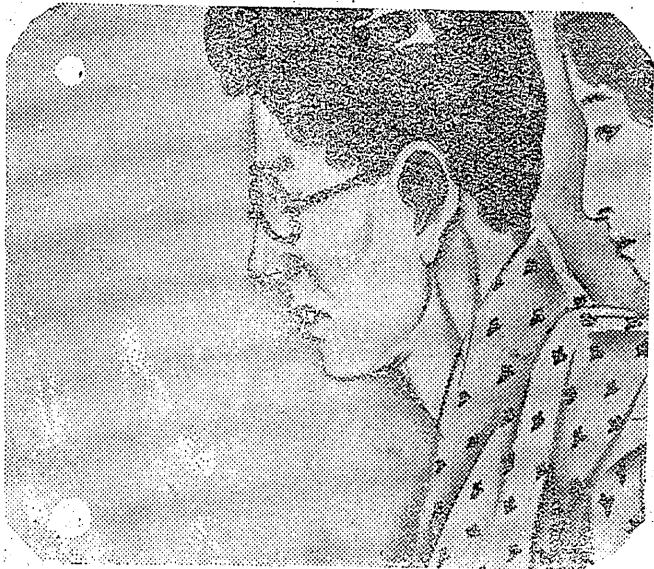
(百十六)

渡邊 默禪 作
布施 平八郎 畫

【戒轉禁】

怪しの手紙 (2)
内儀さんの答へはさつぱりとわからんがさつと愚うであつた。儀平は何が那にやら煙に巻かれたやうな心もちでぼんやりと磯子に戻つて来た。
その返辭は借樂園にゐるお竹の手に渡された。
お竹はそれを持つて今歸つて来たやうな顔をしながら郁子夫人の前に出た。
「婆アさん、お前字が讀めるだかね」
儀平はおみき婆さんに訊いた

「讀めるともさ。私だつて然うまじら莫迦にしたものぢやないよ、これでもお前さん寺小屋の時分にや優等生でね、お正月の書初にはいつでも真先に貼出されたもんだよ」
「然うかな、そんなら過日孫から寄越した端書を読めさうなもんだのに……」
「そりやあ仕方がない、今學校で教える字は昔の字とは大違ひだもの、今時の字は成つちやあゐないよ、お爺さん。」
「アハ、笑わずせ、兎角早く行つて見ろちやうど奥さんがあの手紙をあけて讀んでござる時分だから……」



あるものか。そつと知らぬふりして傍からそれをのぞくんだよ早く行つて……」
おみき婆さんは急いで番茶を入れそれを持つて郁子夫人の居間に入った。
おみき婆さんが顔を出した時にはちやうど郁子夫人がその手紙を膝の上におろげ

て今や熱心に見入つてゐたのであつた。少し離れた襖のところにお竹が立膝をして夫人の着換の表裳を忙しさに疊んでゐた。
「奥様、お出花を召し上げませ。」
婆アさんは怒う言つて番茶をついである九谷焼の湯呑を夫人の前に出した。そしてちろりと手紙を覗き込んだ。が、何を書いてあるのか些とも分らなかつた。夫人は婆さんの方を見向きもせず一生懸命に黙つてその手紙を折つた。そして四角の封筒のなかに納めてから

始めて氣づいたやうに湯呑を引寄せた。
「竹、お前今日歸るんだらうね、歸つて呉れるか」
と訊いた。お竹は疊んだ衣裳をふはりと亂箱のなかに落した。
「はい、御用がなければ直とお暇を願ひ……」

おましたんですが……」
「然う。それぢやお土産を……」といつて秘密で来たんなら駄目ね。家の蛤利でも遣りたいんだけれど……」
「そんな物を載いてまいられあしませんわ。直くおしれのつくやうなシロモノですもの。」
「お前のことにしたら、指環だけ貰つていささへすりや満足なんだらう。」
「ハイ、然うでございますともさ。」
こういつて二人は笑つたその途端にさつと風が吹込んだ。夫人の膝にのせた手紙の讀殻はひらりと飛んだ夫人はそれを拾ひとめて後に置いてあつた洋筆のサツクの下に敷いた。

大塚の 學生靴!!!

耐久新製品
編上靴 六〇〇
半靴 五〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚 支店製靴部
電話七七番

増田醫院
平町南町一
電話四八二

火災防火の一大革命
國民財産保全の一大福音

セロン防火劑現はる

セロン防火劑は従来の消火器や消火彈の様に火を見て消すに非らずに事前に防火するのみならず耐久力を増加せしむるを以て其利益甚大なり

使用個所
建築物の周囲、炊事場、風呂場、アンカ炬燵、提灯、戸障子其他火氣の恐ある個所
本劑は實驗の結果其効力偉大なるを以て各警察署町村消防組の賞賛を辱ふせり
本劑は個人賣りは致しませんから御希望の方は各町村消防組又は防火組に御申込下さい
福島縣平町白銀町 (電話三九三番)

東北セロン商會
店主 櫻井 清

平新川町十九

市原醫院
平町田町
電話一四四番

木村病院
電話一六四番

産婦人科 院長 木村寅次郎
内臓外科 醫學士 松永憲一
整形外科

印刷御用命
總は常磐日印株式會社

電話三六〇番

七五三のお祝着

可愛らしいお子方
洋服、オバー、マ、帽子、シヨール等々

平 四ツヤル電 〇四

看護婦急派の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

七五三帽子均一廉賣

均一
10 錢
20 錢
30 錢
50 錢
70 錢
95 錢
均一

廿一日迄
モリタヤ洋品店
買店5丁目電353

吉田眼科病院

平町南町、電話六八番